

アクティブ サポート 京都

Active Support Kyoto

10

Oct. 2003. No.001

<http://www.ki21.jp>



CONTENTS

創刊に寄せて	1
京都次世代医療研究会	2
京都ビジネスパートナー交流会2004	3
異業種交流会紹介	5
小規模企業者等設備貸与制度	7
受発注コーナー	9
遊休設備コーナー	10
行事予定表	11

がんばる企業を支援します。

財団法人 京都産業21

Kyoto Industrial Support Organization 21

『アクティブ サポート 京都』の創刊に寄せて

理事長 立石 義雄

このたび、当財団では、皆様にも長らくご愛読いただいております広報紙「京都産業21ニュース」と「MONTHLY JOHO KYOTO」を統合し、より充実した、幅広い内容で、タイムリーな情報をお届けする新たな広報紙として、『アクティブ サポート 京都』を発刊することといたしました。

昨年度に策定しました当財団の「基本理念」及び「行動指針」にもとづき、顧客である京都の中小企業の皆様に対して、活動的、かつ能動的に働きかけ、積極的に企業活動を支援するための情報をお届けすることを使命として、『アクティブ サポート 京都』と名付けました。

当財団では、中小企業の経営革新をはじめ、創業・ベンチャー企業支援、産学公連携による新産業創出支援等の総合的な支援機関として、様々な事業を実施しておりますが、今秋には、産学公連携による「京都医療ビジネスフォーラム」、来春には、産学公が一同に集う「京都ビジネス交流フェア2004」等のイベントを開催いたします。

『アクティブ サポート 京都』では、これらに関連する情報をはじめ、様々な特集記事や企業訪問紹介、TOP登場、セミナー・講演、大学紹介等を順次お伝えし、中小企業の皆様が求められる情報を分かりやすく、タイムリーにお届けしてまいります。

どうぞ、『アクティブ サポート 京都』をご愛読いただき、皆様の忌憚のないご意見、ご助言をいただきますようお願いいたします。

財団法人 京都産業21

基本理念

われわれは、顧客とのコミュニケーションを最も大切にし、あらゆる資源の有効活用を図り、中小企業の企業活動に真に役立つ質の高いサービスを提供することにより、京都産業の発展に貢献します。

行動指針

- ・ 企業との対話、現場への訪問を通じて、真の企業ニーズを把握し、迅速かつ的確なサービスの提供に努めます
- ・ 人的・情報ネットワークを拡げ、顧客の期待に応えるより良い情報・サービスを創出します
- ・ 産業支援機関、関係企業など、パートナーとの協力関係を密にし、中小企業の諸課題の解決に取り組みます
- ・ 企業、大学などの相互交流、連携により、広く英知を集め、経営革新、新産業の育成、新事業の創出を促します
- ・ 職員一人ひとりが常にスキルアップを図り、誠意をもって、企業と共に考え、果敢に行動します
- ・ 情報の共有と自由闊達な議論により、自ら考え、行動し、自己革新を続ける活力ある職場風土を築きます



京都医療ビジネスフォーラム

「京都次世代医療研究会」設立記念シンポジウム

開催のご案内

京都府、(財)京都産業21、京都リサーチパーク(株)では、京都府立医科大学をはじめとする医療現場のニーズや研究成果(シーズ)をもとに、京都地区の理工系大学の研究成果(シーズ)、医療関連企業の優れた研究開発力を結集し、産学連携、医工連携の促進による医療・福祉機器、医療材料の開発を目指した「京都次世代医療ビジネス研究会」を設立し、「京都医療ビジネスフォーラム(「京都次世代医療研究会」設立記念シンポジウム)」を以下のとおり開催いたします。

ご興味のある多くの企業の積極的な参加をお待ちしています。

医療分野にご関心のある中小・ベンチャー企業の方々へ

この研究会は医師、看護師等医療現場が必要とする医療・福祉機器、医療材料などの「ニーズ」から出発します。産学公の皆様の力を合わせて医療現場のニーズに応じて行きたいと思えます。中小・ベンチャー企業の皆様も力を貸してください。

医療分野にご関心のある中小・ベンチャー企業の方々には「医療現場のニーズ」に直に触れるチャンスになり、また「ビジネスのヒント」になったり、あるいは「具体的なご提案」がビジネスにつながればと事務局では考えております。とかく医療分野は敷居が高いといわれますが「京都次世代医療研究会」は最先端の先生方と「ざっくばらんで中味のある」活動を目指したいと思っています。ぜひ一度このフォーラムにご参加いただき、「京都次世代医療研究会」にご参画いただければと思います。

日時 平成15年 11月11日(火) 10:00～18:00/12日(水) 10:00～16:30

場所 京都リサーチパーク サイエンスホール他 京都市下京区中堂寺南町134番地 サイエンスセンタービル1号館4F

参加費 無料 (ただし、第1日目の交流会参加費:3,000円/人)

内容 第1日目(11月11日)

- (1) 開会挨拶
- (2) 基調講演 「最先端医療・機器開発の現状とビジネスの可能性(仮題)」
宮田 満氏 (日経BP社 先端技術情報センター長)
- (3) 特別講演 「次世代病院医療システムの構築(仮題)」
三宅 淳氏 (産業技術総合研究所 ティッシュエンジニアリング研究センター長)
- (4) パネルディスカッション
「産学連携と最先端医療・機器関連ビジネス(仮題)」
コーディネータ 宮田 満氏 (日経BP社 先端技術情報センター長)
オブザーバー 三宅 淳氏 (産業技術総合研究所 ティッシュエンジニアリング研究センター長)
パネラー
丸中 良典氏 (京都府立医科大学大学院医学研究科 生理機能制御学 教授)
種池 礼子氏 (京都府立医科大学医学部看護学科 教授)
和田 元氏 (同志社大学工学部 教授(リエゾンオフィス所長))
前田 拓巳氏 ((株)島津製作所 技術推進部 部長)
辻 良平氏 ((株)クレディアジャパン 社長)
- (5) 交流会
- (6) ポスターセッション、医療機器・材料展示会

第2日目(11月12日)

- (1) 「京都次世代医療研究会」概要説明
- (2) 一般講演 「次世代医療としての生活習慣病予防と産学連携の現状」
吉川 敏一氏 (京都府立医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学 教授)
- (3) 一般講演 「医工連携による医療関連産業創出(仮題)」
松岡 達氏 (京都大学大学院医学研究科 細胞機能制御学 助手)
- (4) 特別講演 「21世紀のわが国の健康政策の展望(仮題)」
中原 俊隆氏 (京都大学大学院医学研究科 公衆衛生学・健康政策管理学 教授)
- (5) 「京都次世代医療研究会」活動概要説明
 - ① 医用工学研究会 コーディネータ 西村 恒彦氏 (京都府立医科大学大学院医学研究科 放射線治療学 教授)
 - ② 再生医療研究会 コーディネータ 木下 茂氏 (京都府立医科大学大学院医学研究科 視覚機能再生外科学 教授)
 - ③ 看護・介護研究会 コーディネータ 種池 礼子氏 (京都府立医科大学医学部看護学科 教授)
 - ④ 予防医学研究会 コーディネータ 吉川 敏一氏 (京都府立医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学 教授)
- (6) ポスターセッション、医療機器・材料展示会

内容の詳細及び申し込みは下記のホームページをご覧ください。

URL <http://www.krp.co.jp/news/medbforum2003.html>

京都ビジネスパートナー交流会 2004

in 京都ビジネス交流フェア2004

KYOTO BUSINESS PARTNER 2004

展示商談会に参加して、新しいビジネスパートナーの開拓を!

このたび、京都府・(財)京都産業21では、府内の中小企業を対象に、参加企業の展示・商談会を開催し、全国の主要メーカー、商社などとの〈出会い〉の場を設け、新たなビジネスパートナーを開拓することを目的に「京都ビジネスパートナー交流会」を開催致します。ふるってご来場ください。

会期：2004年2月17日(火)10:00～17:00
18日(水)10:00～16:30

会場：国立京都国際会館 イベントホール
京都市左京区宝ヶ池 TEL075-705-1234



コーナーの紹介

展示・商談会 京都府内の中小企業が製造したオリジナル製品、ITや特殊技術を駆使した加工部品、また、それらのパネル等を展示。全国からメーカーの資材・購買等発注担当者を場で商談!新たなビジネスパートナーの発掘の場を提供。

中小企業支援機関相談・PRコーナー

中小企業の皆様が抱える経営戦略・技術などあらゆる悩みや問題についての相談窓口を併設。

産学公交流事業紹介コーナー

産学交流事業を推進している大学の取組み状況を紹介し、共同研究などの相談窓口を併設。

同時開催 イベント

京都ものづくりフォーラム2004/情報化プラザ/出展者交流会
京都“ぎじゅつ”フォーラム
(技術顕彰表彰式・講演)平成15年度技術大賞及び優秀技術賞
受賞企業の技術・製品を披露!/ビジネスマッチング交流会
国際化セミナー/省エネ調査報告

技術アライアンスコーナー

- 展示商談会
 - ・新たに調達を計画している製品(部品)または写真(パネル)
 - ・技術等のポイントが分かる画面
 - ・自社のPR商品
- 説明員
 - ・課題の内容、求める技術(企業)が説明できる人をがブースに常駐
- P R
 - ・ビジネスパートナー交流会出展企業ガイドブックとは別に参加メーカーリストを作成府内外の企業に広くPRします。
- 商談
 - ・ブース内または商談コーナーにおいて事前予約無しのフリー面談形式とします。但し、商談がスムーズにすすめられるよう出展メーカーと商談を希望する企業からパンフ等を事務局が受付、商談希望メーカーへ事前を送付します。

【お問い合わせ先】

財団法人京都産業21 企業振興課

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都府産業プラザ内
TEL:075-315-8590 FAX:075-315-9240

交流会
体験談

ワンランク上の仕事に挑戦できる環境づくりが 社員＝工場のパワーになる



山本精工(株)
専務取締役:山本昌治氏

住 所 ● 京都府城陽市久世八丁74の4番地
TEL ● 0774-55-2347
FAX ● 0774-55-0705
設 立 ● 1980年
事業内容 ● アルミ素材の加工及び表面処理

「京都ビジネスパートナー交流会への出展をきっかけに、社内には客観的に我が社を評価する眼や、自社技術を相手に伝えるための表現方法を工夫しようという姿勢が育ちました」と語るのは山本精工の専務取締役・山本氏。「これからの発展は、異業種、同業種からの情報収集とともに、社員が創造的作業のおもしろさを実感できる環境づくりが鍵になります。挑戦し続ける活力は、社員の意欲にほかならない」が山本精工の姿勢。「職人芸とい

われるものは、じつは単純反復作業であって、そこに新しいアイデアや工夫は見られないことが多いのです。人がすべきことは知的作業、つまり創造です。精密で確実な職人技は制御プログラムと機械が担当してくれるれば問題のないこと」と山本氏は言い切ります。

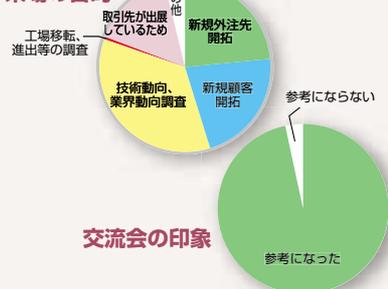
山本精工では、社員のほとんどがパソコンワークに精通し、もっぱらプログラミングなどの創造的作業に従事しています。そして徹底した技術管理、作業管理をパソコンで行うほか、プログラムの開発を進め、熟練技と言われる技術のマニュアル化を図っています。その背景には、「多品種、単品および試作品に特化した製造姿勢があります。そして納期のスピード化、品質向上を図るため、加工ラインのみならず、表面処理ラインと表面処理技術を開発する部署を設置。顧客への技術提案や製品提案にも積極的に取り組み、他社との差別化を図っています。

従業員33人の山本精工のパワーは「ワンランク上の仕事に挑戦する環境を与えられたとき人は意欲と情熱を注げるものだ」という企業姿勢が生み出したものなのです。

前回来場者データ

(来場者数2900人)

来場の目的



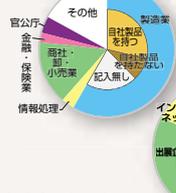
交流会の印象

参考にならなかった

商談成立件数

56社 78,003千円
(2003.6.30現在 追跡調査継続中)

職種(業種)



交流会を何で知ったか

職種(所属部署)



前年度実績

日時 ● 2003年3月11日(火) 10:00~17:00

場所 ● 国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

内容 ● 京都ビジネスパートナー交流会

(1) 出展対象

機械金属、電機、樹脂、木工等の製品及び部品等(ソフトを含む)の製造業

(2) 出展規模

167社・9グループ

小間数243小間(前々年度 165社・7グループ)

業 種 別

機械金属88社、成型・樹脂7社、電気・電子19社、木工1社、情報・ソフト13社

地 域 別

自社製品19社、試作11社、他9グループ

北部29社2グループ/京都市内79社5グループ

南部56社2グループ/その他3社

産業支援機関

16機関 6大学

京都府異業種交流会連絡会議について

京都府異業種交流会連絡会議（異業種京都会）は、現在70グループ（約5,000社）が属し、新しいビジネスチャンス・ヒントを見つけるため、幅広い“交流”を図っています。

主に、「情報の共有化」「交流ステージの提供」「広域交流の促進」「産学交流の促進」という4つのテーマを掲げ、参加グループ及び参加企業にとって、メリットのある交流会を目指しています。

異業種交流会の活性化、企業の経営革新を目指すためにも、ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

京都府異業種交流会連絡会議（異業種京都会）

会長 中沼 壽（中沼アートスクリーン代表取締役）

70グループ（約5,000社所属）

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134京都市リサーチパーク内

TEL 075-315-8677 FAX 075-314-4720

URL <http://www.joho-kyoto.or.jp/igyoushu>

E-mail tatsumi@mail.joho-kyoto.or.jp



京都ライフサイエンス研究会

<http://www.joho-kyoto.or.jp/igyoushu/member/a/lsp.html>



京都ライフサイエンス研究会は、(財)京都産業21 KIIC会員交流会事業の一つとして発足した商品開発型異業種交流会です。現在までに、導電繊維を活用した低周波治療器の電極パド（特許出願中）の開発を行い、現在は“消臭”をメインテーマに商品開発を行っているところです。

今後、“ライフサイエンス”という分野でテーマ探索、情報交換を続け、企業間交流から商品開発を目指しています。

京都ライフサイエンス研究会

事務局 (財)京都産業21 産業情報部

<http://www.joho-kyoto.or.jp/igyoushu/member/a/lsp.html>

古都バイオ研究会



古都バイオ研究会はバイオ版の試作ネットやバイオ人材・取引先のマッチングなどの事業展開によってバイオビジネスの発酵・熟成をめざしています。バイオ試作ネットのメンバー企業としてのバイオ企業経営者はもちろんのこと、バイオ企業とのマッチングを希望されるバイオ以外の企業経営者の方の入会も広く募集しております。

ご関心のある方は古都バイオ研究会事務局

杉浦システムコンサルティング, Inc 電話075-321-5528

電子メール sugiura@mbox.kyoto-inet.or.jp までご連絡ください。